正五位に叙する　山崎　嘉藏
正五位に叙する　田中　晴之
従五位に叙する（以上二月二十日）
正五位に叙する（二月二十六日）　乾　晴美

○叙勲

瑞宝双光章を授ける（各通）　井上　哲広　前田　孝和　杉原　博　虻川　光司　岩國　隆宏
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上二月十七日）　井料　孝一　島田　亮二　徳永　茂喜　松井　眞澄
（（独）国立高等専門学校機構職員）　冨田　充宏
瑞宝小綬章を授ける　藤田　秀平
瑞宝双光章を授ける　多田　豊　中牧　知章　原田　豊
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上二月十八日）
（鹿児島工業高等専門学校名誉教授）　持原　稔
瑞宝小綬章を授ける　井手野下　義彦　川角　守
瑞宝双光章を授ける（各通）　佐藤　恵三　丹治　幹夫　畑中　政勝
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上二月十九日）　田中　晴之
瑞宝双光章を授ける（二月二十日）

官庁報告

官庁事項

総務省防災業務計画の修正要旨の公表について

災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第36条第１項の規定に基づき、総務省防災業務計画を修正したので、同条第２項の規定に基づき、その要旨を次のとおり公表する。

令和７年３月28日　総務大臣　村上誠一郎

総務省防災業務計画の修正要旨

一　修正の目的　令和７年４月から総務省のシステム環境がＧＳＳ（ガバメントソリューションサービス）へ移行することを踏まえ、必要となる所要の改正を行うため。

二　修正年月日　令和７年４月１日

三　修正の要旨　災害応急対策等における情報通信技術の活用に関する記載の修正。

指定確認検査機関に対する監督命令に係る公示

建築基準法（昭和25年法律第201号。以下「法」という。）第77条の30第１項の規定による監督命令をしたので、同条第２項の規定に基づき、次のとおり公示する。

令和７年３月28日

国土交通大臣　中野　洋昌

1　監督命令をした年月日　令和７年３月12日

2　監督命令を受けた指定確認検査機関の名称及び事務所の所在地並びに代表者の氏名　株式会社国際確認検査センター　本社　東京都中央区京橋二丁目八番七号　大阪支店　大阪府大阪市中央区本町四丁目四番二十五号　九州支店　長崎県長崎市元船町十四番十号　代表取締役社長　大島　圭美

3　監督命令の内容　確認検査の業務において著しく不適当な行為がなされたことに鑑み、当該行為が発生した原因を分析した上で、同様の確認審査等を再発させないよう、審査マニュアルの改善、審査体制の整備等の具体的な改善措置を含む業務改善計画書を令和７年４月２日までに提出すること。

また、当該計画の提出の日から一年間、当該計画を確実に実施するため、その実施状況について同機関内に設置された監視委員会等の審議を経た上で、四半期ごとに国土交通大臣に報告すること。

4　監督命令の原因となった事実　建築物１件の確認審査において、その業務に従事する確認検査員が過失により都市計画法（昭和43年法律第100号）第53条第１項の規定に適合しないことを見過ごし、指定確認検査機関として確認済証を交付した。

国土調査法に基づく国土調査と同一の効果があるものとしての指定の公告

国土調査法（昭和二十六年法律第百八十号）第十九条第五項の規定により、国土調査以外の測量及び調査の結果作成された別表に掲げる地図及び簿冊を、同条第二項によつて認証された国土調査の成果と同一の効果があるものとして指定したので、国土調査法施行令（昭和二十七年政令第五十九号）第二十条の規定により公告する。

令和七年三月二十八日　国土交通大臣　中野　洋昌

測量及び調査を行った者の名称	地図及び簿冊名
足利市	足利市都市計画事業大日東土地区画整理事業の出来形確認測量図及び換地計画書
昭島市福島町矢崎地区地権者会	昭島市福島町矢崎地区土地区画整理事業の確定測量図及び調査簿
倉敷市	来形確認測量図及び換地計画書倉敷駅前東土地区画整理事業の出
宜野湾市我如古４丁目農住組合	測宜野湾市我如古４丁目農住組合土地区画整理事業出来形確認測量図及び換地計画書
合うるま市石川西土地区画整理組	測中部広域都市計画事業石川西土地区画整理事業の出来形確認測量図及び換地計画書
山田町	確山田都市計画事業大沢地区震災復興土地区画整理事業の画地定測量図及び換地計画書

公告

諸事項

有権者申出方

元当局所属公証人白濱清貴の身元保証金還付につき、その上に権利を有する者は、本公告掲載の日の翌日から６か月以内に当局に申し出て下さい。

令和７年３月28日　東京法務局

基本測量関係事項公告

基本測量の測量成果を得たので、測量法（昭和24年法律第188号）第27条第１項の規定に基づき、次のとおり公告する。

令和７年３月28日

国土交通大臣　中野　洋昌

種類	実施時期	区域	摘要
基盤地図情報　標高点（ＤＥＭ）	令和６年度	全国	データ間隔は0.04秒グリッド（１メートル相当） 航空レーザ測量を基に作成